

①

令和4年度
9月補正予算(案)のポイント

令和4年8月29日



令和4年度9月補正予算(案)のポイント

令和4年度9月補正予算(案) 117億3,845万円 〔 一般会計 95億6,203万円
特別会計 21億7,642万円 〕

新型コロナウイルスの感染再拡大や物価高騰等の影響に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対策」、「原油価格・物価高騰等対策」、「賑わいの創出」を柱に予算を編成

1 予算(案)の規模

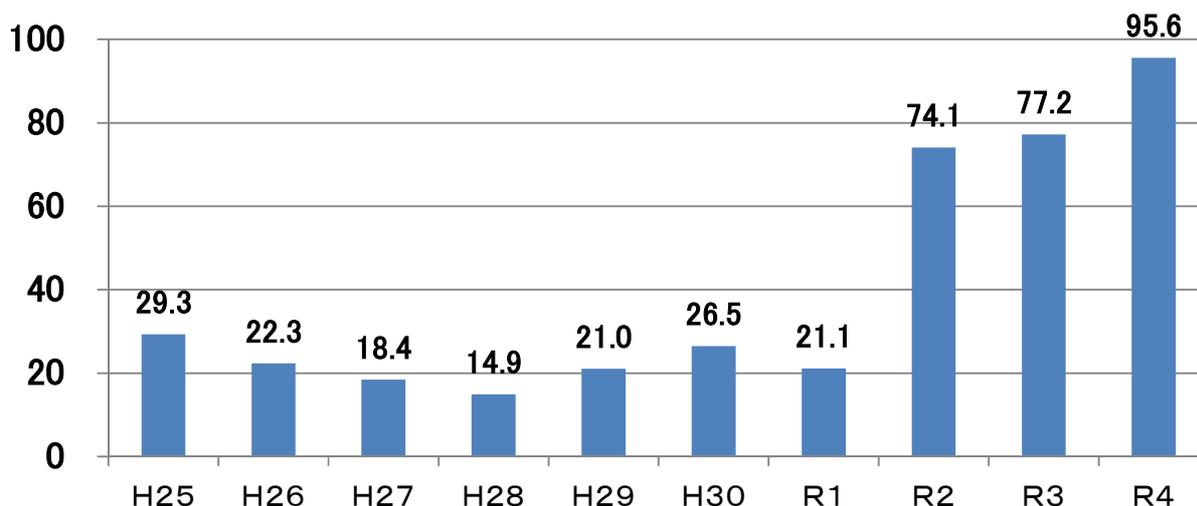
- ★ 一般会計の補正予算の規模は約95億6千万円の増額で、前年度と比較すると約18億5千万円の増加。9月補正としては、政令指定都市移行後 最大の規模。
- ★ 今回の補正予算は、「新型コロナウイルス感染症対策」として約44億4千万円、「原油価格・物価高騰等対策」として約19億8千万円、「賑わいの創出」として約1億3千万円の増額を計上。
- ★ このほか、令和3年度決算の確定に伴う財政調整基金への積立金33億円などを計上。
- ★ 特別会計では、令和3年度決算の確定等に伴い、国民健康保険事業会計において約13億3千万円、介護保険事業会計において約8億5千万円の増額を計上。

(単位:千円)

区分	令和4年度 9月補正予算額	令和3年度 9月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	9,562,032	7,716,388	1,845,644	23.9
特別会計	2,176,417	1,574,548	601,869	38.2
企業会計	0	10,000	△ 10,000	皆減
合計	11,738,449	9,300,936	2,437,513	26.2

(単位:億円)

一般会計9月補正予算額の推移



※一千万円未満は四捨五入

2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源としては、国庫支出金(新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、地方創生臨時交付金等)、県支出金(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金、医療提供体制設備整備事業費補助金)などを活用。
- ★ 一般財源としては、地方交付税、令和3年度の決算剰余金(繰越金)等を財源とした。

3 主要事業のポイント

① 新型コロナウイルス感染症対策



4,438,300 千円

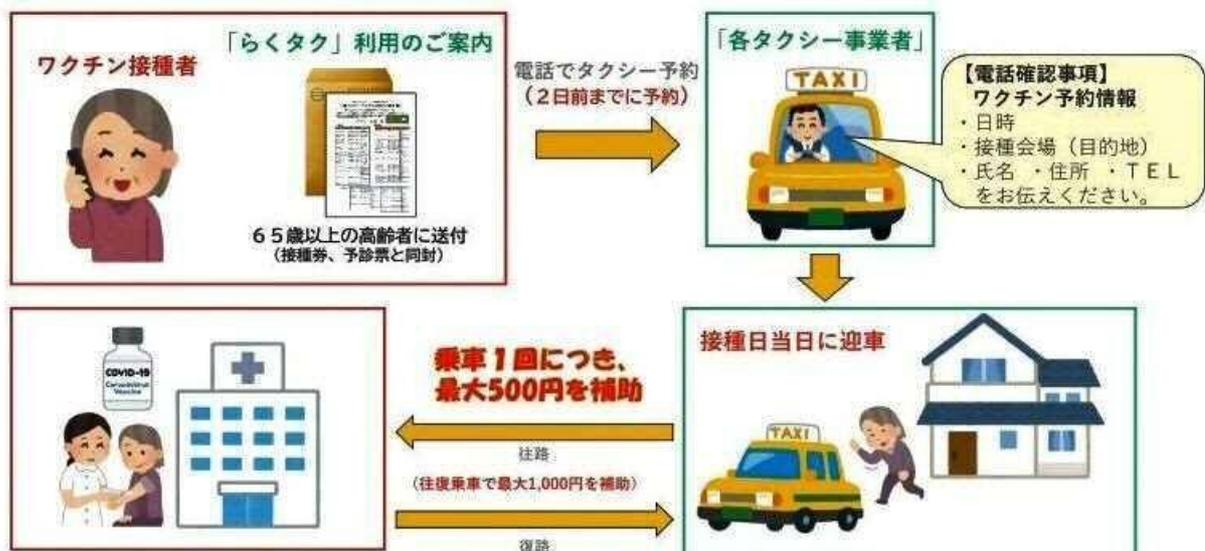
★ 新型コロナウイルス感染症オミクロン株に対応したワクチン接種体制を確保し、感染の再拡大を抑制

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (財源: 国庫負担金 10/10 国庫補助金 10/10 臨時交付金)	国による新型コロナウイルス感染症に係るオミクロン株対応ワクチンの承認及び供給を見据え、次の想定に基づき接種体制を確保 【想定】 ・対象者 12歳以上の1・2回目接種完了者 約56万人 ・接種時期 令和4年10月中旬から令和5年3月末 1 ワクチン接種の実施 2,672,900千円 オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン接種を実施 ①個別接種 47.6万人 ②集団接種 8.3万人 (会場)クーポール会館、アピタ静岡、清水庁舎など ③巡回接種 0.1万人 (計56万人) (対象地域) 山間地 2 コールセンターの設置 1,100,000千円 令和4年9月末までを予定していたコールセンターの設置を、令和5年3月まで延長 3 予約支援窓口の設置 17,100千円 対象者が多いと見込まれる時期に、延べ14日間程度設置予定 (会場)クーポール会館、アピタ静岡、清水庁舎など 4 高齢者移動支援「らくタク」の実施 5,000千円 接種会場への行き来でタクシーの利用を希望する65歳以上の高齢者を対象に、利用料を1回500円まで補助	3,795,000

高齢者移動支援「らくタク」の利用方法



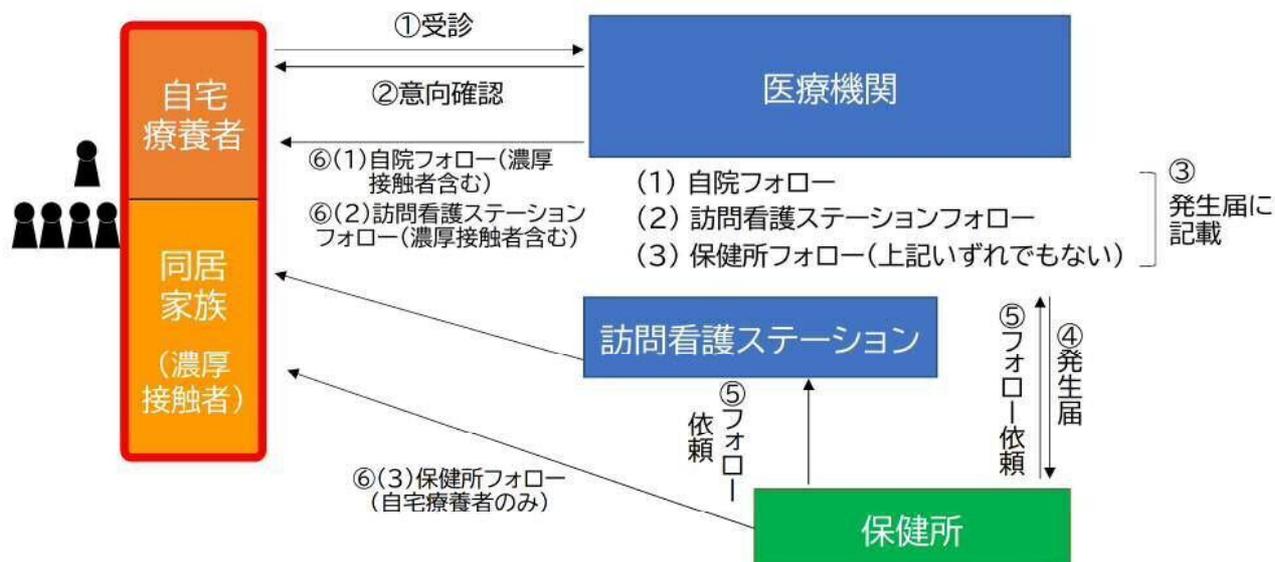
★新型コロナウイルスの感染が再拡大する中、患者への支援に係る予算を増額して対応

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
2 感染症患者医療扶助事業 (財源:国庫負担金 3/4)	<p>新型コロナウイルス感染症入院患者の急増に伴い、入院医療費の自己負担額の助成に必要な経費を増額</p> <p>・対象者 新型コロナウイルス感染症患者 ※病状の程度が重篤化するおそれがあると認められる方等で、入院加療が必要となった方に限る</p> <p><当初見込み> 助成人数 1,429人/年 総事業費 147,000千円</p> <p><9月補正後> 助成人数 5,303人/年 総事業費 464,400千円</p>	317,400
3 在宅ドクターサポート事業 (財源:国庫負担金 1/2 県補助金 10/10)	<p>新型コロナウイルス感染症患者の急増に伴い、医師等による在宅療養者への健康観察(フォローアップ)業務に必要な経費を増額</p> <p>・実施箇所 市内医療機関約150か所 市内訪問看護ステーション29か所</p> <p><当初見込み> 対象者数 患者1,126人/年 濃厚接触者3,378人/年 合計4,504人 総事業費 102,500千円</p> <p><9月補正後> 対象者数 患者31,829人/年 濃厚接触者17,302人/年 合計49,131人 総事業費 428,400千円</p>	325,900

<「在宅ドクターサポート事業」の事業フロー図>





★原油価格・物価高騰の影響を受けている中小事業者等の事業継続を支援

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
電気料金の高騰に対する支援		
1 中小製造事業者 生産活動支援事業費助成 (財源:臨時交付金)	電気料金高騰の影響を受けている市内の中小製造事業者に対し、年間の価格高騰分の一部を支援 ・対象者 市内に所在する法人格を有する中小製造事業者で、高压電力、特別高压電力を契約している者 ・事業者数 約1,300者 ・対象経費 電気料のうち電力量料金分 ・支援額 令和4年4月以降の任意の連続する3か月間における電気料金の前年同月比増加額から年間影響額を算出し、その1/2を支援 ・上限額 50万円	650,000
燃料費の高騰に対する支援		
2 貨物自動車運送事業者 支援事業費助成 (財源:臨時交付金)	燃料費高騰の影響を受けている市内の貨物自動車運送事業者に対し、年間の価格高騰分の一部を支援 ・対象者 市内に本店又は支店を有する中小貨物自動車運送事業者 ・車両台数 一般貨物・特定貨物自動車 約6,100台 貨物軽自動車 約1,500台 ・支援額 一般貨物・特定貨物自動車 50,000円/台 貨物軽自動車 20,000円/台 ※あわせて50台までを上限とする 使用の本拠が市内である事業用車両に限る	336,300
3 一般廃棄物収集運搬業者 支援事業費助成 (財源:臨時交付金)	燃料費高騰の影響を受けている一般廃棄物収集運搬業者に対し、年間の価格高騰分の一部を支援 ・対象者 本市の一般廃棄物収集運搬業許可を受けた事業者(65者) ・車両台数 塵芥車・糞尿車等 約200台 ダンプ・トラック等 約100台 軽貨物等軽自動車 約10台 ・支援額 塵芥車・糞尿車等 48,000円/台 ダンプ・トラック等 14,000円/台 軽貨物等軽自動車 6,000円/台	12,800
4 公共交通事業者支援事業費助成 (財源:臨時交付金)	燃料費高騰の影響を受けている市内の公共交通事業者に対し、年間の価格高騰分の一部を支援 ・対象者 市内の乗合バス事業者(3者)、タクシー事業者(124者)、地域鉄道事業者(1者) ・車両台数 乗合バス 約300台 タクシー 約900台(LPガス車) 約150台(ガソリン車) ・支援額 乗合バス 49,000円/台 タクシー 14,000円/台(LPガス車) 10,000円/台(ガソリン車) 地域鉄道 1,880万円/者	48,300



貨物自動車運送事業者

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
資材価格の高騰に対する支援		
5 農業者支援事業費助成 (財源:臨時交付金)	<p>原油・農業生産資材価格高騰の影響を受けている市内農業者に対し、年間の価格高騰分の一部を支援</p> <p>・対象者 令和3年の農産物販売金額が50万円以上の市内農業経営体で、以下のいずれかを満たす者 ①エコファーマー(旧「持続農業法」に基づく持続性の高い農業生産方式の導入計画認定者) ②令和7年度末までの営農活動において環境負荷低減への取組を実践する意向のある者</p> <p>・対象者数 約2,500者 ・対象経費 肥料費、農薬費等の生産資材の価格高騰分 ・支援額 令和3年1～12月の対象経費支出実績額に各費目の物価上昇率を乗じて年間影響額を算出し、その1/2を支援 ・上限額 10万円</p>	107,000



農業用配合肥料など

★原油価格・物価高騰の影響を受けている福祉施設等の事業継続を支援

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
6 介護施設光熱費等 負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	<p>光熱費、燃料費及び食材料費高騰の影響を受けている市内の介護事業所に対し、年間の価格高騰分を支援</p> <p>・対象施設 市内の介護事業所のうち、入所施設及び通所施設(700か所) ・利用者数 入所施設 約11,000人 通所施設 約8,000人 ・支援額 入所施設 入所者1人あたり33,000円 通所施設 利用者1人あたり11,000円</p>	451,000
7 軽費老人ホーム光熱費等 負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	<p>光熱費、燃料費及び食材料費高騰の影響を受けている市内の軽費老人ホームに対し、年間の価格高騰分を支援</p> <p>・対象施設 市内の軽費老人ホーム(7か所) ・利用者数 約360人 ・支援額 入所者1人あたり33,000円</p>	11,880



介護事業所の様子

【主な事業】

(単位:千円)

	事業名	主な概要	金額
8	障害者福祉施設等光熱費等負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	光熱費、燃料費及び食材料費高騰の影響を受けている市内の障害福祉サービス等事業所に対し、年間の価格高騰分を支援 ・対象施設 市内の障害福祉サービス等事業所のうち、入所施設、共同生活援助・福祉ホーム及び通所施設(475か所) ・利用者数 入所施設 約1,000人 共同生活援助等 約600人 通所施設 約5,000人 ・支援額 入所施設 入所者1人あたり33,000円 共同生活援助・福祉ホーム 入所者1人あたり22,000円 通所施設 利用者1人あたり11,000円	101,200
9	私立こども園等光熱費負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	光熱費高騰の影響を受けている市内の私立認定こども園等に対し、年間の価格高騰分を支援 ・対象施設 私立の認定こども園、保育所、小規模保育施設、事業所内保育施設、幼稚園、認可外保育施設(241か所) ・利用者数 約17,800人 ・支援額 在籍園児1人あたり5,000円	89,000
10	民間放課後児童クラブ光熱費負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	光熱費高騰の影響を受けている市内の民間放課後児童クラブに対し、年間の価格高騰分を支援 ・対象施設 市内の民間放課後児童クラブ14クラブ ・利用者数 約400人 ・支援額 利用児童1人あたり3,000円	1,200
11	児童養護施設等光熱費等負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	光熱費及び食材料費高騰の影響を受けている市内の児童養護施設等に対し、年間の価格高騰分を支援 ・対象施設 静岡ホーム(葵区井宮町) 静岡乳児院(葵区有永町) 千代田寮(葵区上足洗二丁目) ・利用者数 静岡ホーム 約65人 静岡乳児院 約20人 千代田寮 約30世帯 ・支援額 静岡ホーム 在籍児童1人あたり30,000円 静岡乳児院 在籍児童1人あたり45,000円 千代田寮 入所世帯1組あたり10,000円	3,150
12	里親家庭光熱費等負担軽減事業費助成 (財源:臨時交付金)	光熱費及び食材料費高騰の影響を受けている里親家庭に対し、年間の価格高騰分を支援 ・対象者 静岡市から里親委託を受けている里親 ・里子人数 約60人 ・支援額 里子1人あたり月額1,400円	1,000

★観光誘客等に取り組む観光・宿泊関連事業者を支援

【主な事業】

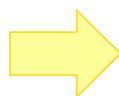
(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
13	地域型宿泊誘客事業支援助成 (財源:臨時交付金)	市内宿泊事業者が中心となった団体が実施する誘客事業等に対する助成 ・交付先 宿泊事業者を中心とする5者以上の市内事業者で構成される事業者グループ ・対象事業 宿泊客のインセンティブとなる共通クーポンやノベルティ提供など、誘客や観光消費の拡大を促進する事業 ・補助率 インセンティブ原資10/10 事務経費2/3 情報発信経費2/3 ・上限額 1万円×団体内の市内宿泊施設定員数	90,000
14	宿泊施設等高付加価値化 設備整備等助成 (財源:臨時交付金)	観光庁補助事業を活用する市内観光事業者に対し、国の補助対象外経費の一部を助成 ・交付先 観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化」を活用する宿泊施設及び飲食店等の観光施設(22施設/20事業者) ・補助対象 ①物品購入経費 収益力向上に資する高付加価値サービス提供のための物品購入費等 ②個別施設の情報発信経費 施設改修や新たなサービス提供等に係る情報発信 ・補助率 1/2 ・上限額 ①宿泊施設: 客室数30室以下 100万円 31～59室 200万円 60室以上 300万円 観光施設: 50万円 ②宿泊施設: 50万円 観光施設: 30万円	40,100

宿泊施設の高付加価値化のイメージ



<整備前>



<整備後>

③ 賑わいの創出



131,800 千円
(19,000 千円)

- ★ コロナ禍で停滞しているイベントの回復や持続的な開催を支援し、消費活動を促進
- ★ 大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に全国からの誘客を図るため、産・学・官の連携による観光消費拡大に向けたプロモーション等を実施し、地域経済を活性化
- ★ 歴史博物館や大河ドラマ館の開館により高まる駿府城公園エリアにおける観光需要に対応

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 まちは劇場TRY'22 開催事業負担金 (財源:臨時交付金)	春フェス・夏フェスのイベント回復における新規イベントの増加やイベント規模の拡大に伴い、年間を通じて「まちは劇場」に資するイベントの主催者を支援するための負担金を増額 ・実施主体 まちは劇場TRY'22推進委員会 ・事業内容 「まちは劇場」の推進に資するイベントの主催者を「まちは劇場推進パートナー」に指定し、奨励金を交付 ・年間イベント見込数 (当初)230件→(9月補正後)350件 (8月末時点:約200件) ・交付額 上限700千円 ・対象期間 令和5年2月まで	100,000
2 大河ドラマ活用推進事業	大河ドラマ館の開館を契機とした観光需要の高まりに合わせ、静岡大学や市内醸造所と連携し、看板商品として(仮)家康公ビールを開発・商品化するため、大河ドラマ活用推進協議会への負担金を増額 ・交付先 静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会 ・事業内容 ①静岡大学(発酵とサステナブルな地域社会研究所)において、市内の家康公ゆかりの地に咲く花などから酵母を採取、優良酵母を選抜、試験醸造 ②市内の醸造所と連携し、選抜した酵母で(仮)家康公ビールを開発し、商品化 ③(仮)家康公ビールのブランディング及びプロモーション活動を実施 ・スケジュール 令和4年10月 (仮)家康公ビールの開発に向けた研究開始 令和5年4月 醸造開始 令和5年5月～ 販売・プロモーション	R4 20,000 R5:債務 (19,000)
3 お堀の水辺(葵舟)活用事業	松江市観光振興公社から新たに寄贈を受ける船体1艘の修繕及び係留場所の整備 ・整備内容 ①船体修繕 船体補修、エンジン交換等の基礎修繕 葵舟仕様への塗装、屋根付替 等 ②係留場所整備 増船に伴う係留場所の整備 船体固定用アンカー設置 等 ・運航体制 歴史博物館や大河ドラマ館が開館する 令和5年1月以降、2艘から3艘体制に変更	11,800



まちは劇場TRY'22参画イベントの様子



葵舟運航の様子

★脱炭素社会の実現に向けた環境負荷の低減と維持管理費の削減のため道路照明灯のLED化を実施

【主な事業】

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 道路照明灯LED化事業	市内の道路照明灯を令和5年度にLED化し、その後、令和15年度までの維持管理を委託 ・対象数 照明灯約11,000基のうち、水銀灯またはナトリウム灯の約9,200基 ・整備手法 ESCO事業 ※省エネ改修に係る設計から施工、維持管理までを包括的に委託する契約方法 ・契約期間 令和4年度から15年度まで ・スケジュール 令和4年度 契約 令和5年度 LED化の施工 令和6年度～令和15年度(10年間)維持管理	(1,800,000)

ESCO事業でLED化を実施した場合の支出イメージ

